

デフレマインドからの脱却！ （資産形成コラム）

「**も**はやデフレではない！」と、安倍元総理が言い、菅・岸田元総

理のもとで安定的なインフレに変わり、賃金が上昇傾向にあります。確かにモノの値段は上がっていると日々感じますし、数年前から比べると全ての商品やサービスが高騰しています。30 年以上続いたデフレは恐らく終わったと言ってよいのではないのでしょうか。ただ、皆さんのマインドはどうですか？私が子どもだった 1980 年代から 90 年代は、まだ日本経済は勢いがあり『ジャパン・アズ・ナンバーワン』と言われていました。当時も今と一緒にインフレ、つまり物価は日々上昇していました。バブル経済の影響もあり、直近の物価上昇とは比べ物にならない程、急激に物価は上がっていましたし、当時は封筒での現金支給だった父の月収袋が毎月のように分厚くなっていたと母から聞かされていました。そんな時代は個人消費は旺盛で購買意欲も高かったため、欲しいものは今買う・すぐ買うが一番良い選択になります。何故なら、待てば待つほど同じ商品・サービスの値段は上がってしまうからです。そして、バブル経済が終わり年号も平成に変わって暫くすると日本経済は低迷し、長い長いデフレの時代（約 30

年間)が続きます。デフレ下では先程と逆で、欲しいモノは今買わず、いつか値段が下がるあるいは安売り(バーゲンセールや特価等)の時に買う方が得をするといった状況で、『待てば安くなる』マインドが私も含め、多くの日本人には沁みついているのではないのでしょうか。マインドと言うか、そういう性格と言うのでしょうか、結構これはややこしくてなかなか直ぐに今の世の中の状況、つまりインフレマインドに切り替えることは難しいと思います。人はなかなか変わらないですからね～。

しかし、いつまでもデフレマインドのままでは、日に日にというか、日常的に実質的な損失を受けていることになるので、変わる必要があることは言うまでもありません。では、現在のようなインフレ下ではどのような気持ち・マインドになれば良いかの1つの例を挙げてお伝えします。マインドですので、出来るだけ皆さんがイメージしやすいような例にします。それは『**非常時**』です。災害大国日本、皆さんも今まで少なからず何らかの自然災害をご経験されたことがあるかと思います。30年以上前のインフレ時代を経験したことがない方はもちろん、当時を知る人であってもその後の30年の経験の方がインパクトが強く記憶に新しいため、少々不謹慎とお感じかも知れませんが、あくまでも平時に訓練として行うイメージ

トレーニングですのでご理解いただき、ご自身が経験した直近の自然災害のいくつかを思い出してみてください。そして、その時の感情・マインドを振り返り思い出してみてください。あのそわそわした何とも言えない不安で不安でどうしようもないけれど、自分自身でどうにかしないとどうにもならない感覚です。生きていくために必要な最低限の選択を可能な限り早く行う。そしてその繰り返しです。災害予報を受けての不安に駆られた買占めとは全く違いますので、誤解のないよう悪しからず。災害が起こった後、皆さんが冷静にご自身や家族のためにとった行動時の気持ち・マインドです。何となく分かってもらえましたか？変な感覚ですが、まさにその時の感覚で日頃の購買行動を行うことで、真に必要なものを適正な価格で購入することが出来ます。必要以上に買い過ぎることは単なる無駄ですし、必要なモノの購入を先送りすることは購入価格の上昇に繋がります。とにかく冷静に、必要なモノを必要な時に直ぐに買う。即断即決。簡単そうで実はとっても難しいです。何故なら、決断には多くのエネルギーが必要だからです。先送りしたり、価格だけ見て必要かどうか分からないような微妙な商品をただ購入するやりの方が、とても簡単です。とは言え、皆さんは日常生活や仕事においても、毎日毎日多くの決断をされていると思いますので、その中でこのインフレイマインドへの切り替えトレーニング

を意識して行ってみてください。普段は融通不断な人（私です）もそれなりにマインドチェンジは出来ると思います。

そして資産形成コラムと言うことで、まずは日々消費活動の中でインフレによる影響を最低限に抑え、さらに今の時代に合わせてデフレマインドから脱却し、インフレマインドで皆さんの資産形成にお役立ていただく具体的な方法をお伝えしようと思います。資産形成の3つの原則（資産分散・長期運用・時間分散）の内、最も大切な長期運用を最大限活用する方法です。長期運用の肝は、ずばり言葉そのまま、出来る限り長く運用することです。長期で運用することで、リスクを軽減することはもちろん、運用効果（複利効果）を最大限生かすことが出来ます。以前のコラム『Time is Money!?!』で太郎と健太の長期運用における衝撃的な運用成果でも明確です。（※以前のコラムはホームページで公開しています。「ソニー生命 山田新」で検索してみてください。）そして、何度か資産形成コラムに登場している世界三大投資家の一人ウォーレン・バフェットの基本投資スタイルが、まさに長期投資。彼曰く「50年後も持っていたい株を買う」「10年以内に売るような株は買うべきではない」。また株の購入時は売ることを前提とせず、無期限に保有する方針を続けています。

つまり、いかに長期で資産運用を行うかが大切になり、そのためにはまず冷静になり、信頼出来る情報を基に直ぐに始めることです。早く始めればその分長期で保有出来ます。つまり冒頭で今回のテーマであるインフレマインドで購入することです。数年前に始めた資産運用の結果を見れば明白です。仮に 5 年で元金が 2 倍になれば、10 年で 4 倍になります。15 年で 8 倍になり、20 年で 16 倍です。(まさに指数関数！！)

食料品の代表でもあるお米でさえも大幅な価格上昇を見せる 2025 年初頭(2024 年 12 月のコシヒカリ 5kg の店頭小売価格は東京都で 4,018 円、前年同月比で 1.68 倍)、皆さんの消費を今だけではなく、将来に亘って維持できるよう、そろそろデフレマインドから脱却してインフレマインドでの資産形成・資産運用のお手伝いをさせていただきます。お早めにお気軽にご相談ください。

※ちなみに「もはや戦後ではない」は 1951 年のサンフランシスコ講和条約により GHQ からの占領から独立を果たし、朝鮮戦争によりさらに経済復興が進んだ 1956 年、「所得倍增計画」で有名な池田勇人内閣の経済白書の中での言葉です。『もはやデフレではない』『令和の所得倍增計画』どちらも過去の歴史になぞらえての発言だと思いますが、まさに歴史は繰り返す。そういう意味でも、鉄血宰相ビスマルクの「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」(経験とは自分自身のみの経験であり、歴史とは多くの先人たちの知識や記録・経験である。)は私の好きな言葉の一つです。

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9 階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟